

賛助会員との関係強化

西浦理事長は「インテリア業界がともに発展しようと、日装連を開かれた組織としてインテリアブランドメーカーとも協力し合って、現在、協力して頂ける政治力を発揮し、ともに業界発展のために頑張りましょう」と述べ、政治家や官僚にはもっと指導を仰ぐ努力を強調した。

また、工業会との共同をきっかけに、賛助会員との意見交換、交流を深めていくとも述べ、「賛助会員の皆さんには日装連総会には参加していただき、更に今年の全国理事長会には国土交通省、経済産業省や国会議員を招待し、講演は国土交通省に依頼する予定だ」とした。

「インテリアメーカーと日装連含めて政治力を発揮していく」ために今後も日装連内部で検討を重ねていく意向も明らかにし、日装連と工業会が「タッグを組んでお互いのレベルを上げて情報を共有し前に進んでいきたい」と西浦理事長は強調した。

工業会の近藤氏は「経済産業省から生産性向上設備投資促進税制の話が合ったのは、それ以前に日装連に協力していただいて、経済産業省にアプローチしていたからだ」とし、日装連の協力を感謝し、今後も協力し、情報交換のパイプを太くしていくと述べた。

工業会と日装連は、インテリア業界全体の活性化に大いに寄与する、と双方が確認し合って意見交換会を終了した。

日装連新聞(第442号)より引用